

◎ 指示があるまで開かないこと。

(令和5年2月9日 10時40分～12時00分)

注 意 事 項

1. 試験問題の数は55問で解答時間は正味1時間20分である。
2. 解答方法は次のとおりである。
 - (1) (例1)、(例2)及び(例3)の問題では1から4までの4つの選択肢、もしくは1から5までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例1)、(例2)では1つ、(例3)では2つ選び答案用紙に記入すること。
 なお、(例1)、(例2)の質問には2つ以上解答した場合は誤りとする。(例3)の質問には、1つ又は3つ以上解答した場合は誤りとする。

(例1)

101 助産業務を行うことが可能となるのはどれか。

1. 国家試験受験日以降
2. 合格発表日以降
3. 合格証書受領日以降
4. 助産師籍登録日以降

正解は「4」であるから答案用紙の④をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

101	①	②	③	④
		↓		
101	①	②	③	●

答案用紙②の場合、

101	①	101	①
	①		①
	②		②
	③	→	③
	④		●

(例2)

102 保健師助産師看護師法が制定された年はどれか。

1. 明治 32 年(1899 年)
2. 大正 4 年(1915 年)
3. 昭和 23 年(1948 年)
4. 昭和 43 年(1968 年)
5. 平成 13 年(2001 年)

正解は「3」であるから答案用紙の③をマークすればよい。

答案用紙①の場合、					答案用紙②の場合、					
102	①	②	③	④	⑤	102	102	①	①	
			↓			①		②	②	
102	①	②	●	④	⑤	②		③	→	●
						③		④		④
						④		⑤		⑤
						⑤				●

(例3)

103 助産師籍に登録されるのはどれか。2つ選べ。

1. 生年月日
2. 受験年月日
3. 卒業年月日
4. 就業年月日
5. 登録年月日

正解は「1」と「5」であるから答案用紙の①と⑤をマークすればよい。

答案用紙①の場合、					答案用紙②の場合、					
103	①	②	③	④	⑤	103	103	①	●	
			↓			①		②	②	
103	●	②	③	④	●	②		③	→	③
						③		④		④
						④		⑤		●
						⑤				

(2) 計算問題については、□に囲まれた丸数字に入る適切な数値をそれぞれ1つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例4)の質問には丸数字1つにつき2つ以上解答した場合は誤りとする。

(例4)

104 50床の病棟で入院患者は45人である。

この病棟の病床利用率を求めよ。

ただし、小数点以下の数値が得られた場合には、小数点以下第1位を四捨五入すること。

解答：① □ ② □ %

- | | |
|---|---|
| ① | ② |
| 0 | 0 |
| 1 | 1 |
| 2 | 2 |
| 3 | 3 |
| 4 | 4 |
| 5 | 5 |
| 6 | 6 |
| 7 | 7 |
| 8 | 8 |
| 9 | 9 |

正解は「90」であるから①は答案用紙の⑨を②は①をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	●
104	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	●

答案用紙②の場合、

①	②
①	②
②	③
③	④
④	⑤
⑤	⑥
⑥	⑦
⑦	⑧
⑧	⑨
●	⑩

- 1 閉経期に血中濃度が低下するホルモンはどれか。
 1. プロゲステロン
 2. 黄体形成ホルモン〈LH〉
 3. 卵胞刺激ホルモン〈FSH〉
 4. ゴナドトロピン放出ホルモン〈GnRH〉

- 2 Aさん(30歳、初産婦)は妊婦健康診査の終了後、「コーヒーを1日5杯以上飲んでいると先生に話したら、カフェインの摂取を控えるように言われました。カフェインを含まない飲み物を教えてもらえますか」と助産師に尋ねた。

このとき助産師がAさんに勧めるのはどれか。

 1. 紅茶
 2. 抹茶
 3. 麦茶
 4. ほうじ茶

- 3 骨産道について正しいのはどれか。
 1. 類人猿型は正常な骨盤入口部の形状である。
 2. 骨盤腔の区分で最も広いのは骨盤潤部である。
 3. 解剖学的真結合線は岬角の中央と恥骨結合後面との最短距離である。
 4. 仙骨の形状のエックス線撮影での評価は Martius〈マルチウス〉法で行う。

- 4 レボノルゲストレル放出子宮内システム〈LNG-IUS〉について正しいのはどれか。
 1. 避妊効果は銅付加型子宮内避妊器具〈IUD〉より低い。
 2. 副作用(有害事象)に過多月経がある。
 3. 性感染症を防ぐ効果がある。
 4. 子宮内膜を萎縮させる。

- 5 妊娠期の梅毒の感染で正しいのはどれか。
1. 梅毒トレポネーマは胎盤を介して胎児に感染する。
 2. 治療の第一選択はテトラサイクリン系抗菌薬である。
 3. 梅毒陽性の妊婦への治療開始は妊娠後期が効果的である。
 4. 妊娠前に感染の既往がある場合、妊娠初期のスクリーニング検査は不要である。
- 6 出生前診断について適切なのはどれか。
1. 出生前診断の結果を理由とした人工妊娠中絶については母体保護法に規定されている。
 2. 胎児に侵襲のある検査は対象にならない。
 3. 健康な児を出産するために行われる。
 4. 胎児の異常や疾患を調べる。
- 7 卵子の発生で正しいのはどれか。
1. 卵子の染色体は23本である。
 2. プロラクチンによって第一減数分裂が再開する。
 3. 卵母細胞の形成期間は胎児期から思春期である。
 4. 1個の卵母細胞から形成される卵子は2個である。
- 8 正常妊娠に伴う肺機能の変化で非妊時に比べ妊娠後期に減少するのはどれか。
1. 肺活量
 2. 1回換気量
 3. 最大吸気量
 4. 機能的残気量

9 単純拡散によって胎盤を通過するのはどれか。

1. IgG
2. 酸素
3. アミノ酸
4. グルコース

10 正常新生児の特徴で正しいのはどれか。

1. 嗅覚はない。
2. 痛覚はない。
3. 視力は0.2程度である。
4. 甘味の濃淡の識別ができる。

11 乳児期の発達で適切なのはどれか。

1. 2か月ころに定頸が完了する。
2. 4か月ころに人に話しかけるような声を出す。
3. 6か月ころに追視を開始する。
4. 10か月ころに手に持ったものを口に持っていくようになる。

12 A 病院では無痛分娩を希望する妊娠中期の妊婦を対象に母親学級を開催することになった。テーマは「無痛分娩の正しい理解と自分らしいお産に向けて」とした。講義、演習、質疑応答で構成し、演習内容の1つはバースプランの作成に決まっている。

その他の演習内容で優先度が高いのはどれか。

1. 妊婦体操
2. 産痛緩和法
3. いきみの呼吸
4. ベッド上排泄

13 Bowlby〈ボウルビィ〉が提唱したアタッチメント〈愛着〉の説明で正しいのはどれか。

1. 出生直後に確立する。
2. 周産期に限定した概念である。
3. 子どもが養育者に対して抱く情緒的なきずなである。
4. 女性が母親として心理的に適応していく過程である。

14 妊婦に対するアスピリンとヘパリンの併用療法が適応となる疾患はどれか。

1. 糖尿病
2. 関節リウマチ
3. 甲状腺機能亢進症
4. 抗リン脂質抗体症候群

15 Aさん(25歳、初産婦)は妊娠13週で妊婦健康診査を受診し、子宮頸管のクラミジア検査を受け、結果は陽性だった。

Aさんへの助産師の説明で適切なのはどれか。

1. 「治療は抗菌薬の点滴になります」
2. 「治療効果は採血検査で分かります」
3. 「治療効果の判定を1週間後に行います」
4. 「治療効果の判定まで性交時にコンドームをつけてください」

16 Aさん(38歳、初産婦)は妊娠40週3日、1時に陣痛発来し3時に入院した。入院8時間後、陣痛間欠4～5分、陣痛発作50秒、子宮口5cm開大、展退度80%、Station±0。朝食は食べられなかった。Aさんは、全身に力が入っている様子で「昨日も眠れていないし、これ以上長引くのは耐えられない」と訴えた。

このときの助産師の対応で適切なのはどれか。

1. 陣痛間欠時にリラックスを促す。
2. 高年初産では時間がかかることを伝える。
3. 陣痛促進薬を使用する適応であると話す。
4. 初産婦の分娩所要時間には達していないことを説明する。

17 分娩第1期にある正常経過で未破水の産婦への助産ケアで適切なのはどれか。

1. シャワー浴は控える。
2. 3時間おきに導尿を行う。
3. パッドの交換は1時間おきに行う。
4. エネルギー源となる食べ物を勧める。

18 Aさん(34歳、初産婦)は妊娠40週1日で正常分娩した。分娩所要時間は25時間30分で出血量は400ml。胎盤娩出時、牽引にわずかな抵抗があった。胎盤の計測で、卵膜が子宮内に残存している可能性がある」と判明した。

このときのAさんへの説明で正しいのはどれか。

1. 「膣から血の塊や膜のようなものが出たら教えてください」
2. 「お産に時間がかかったことが原因として考えられます」
3. 「子宮内に異物があると後陣痛が弱まります」
4. 「授乳は控えてください」

19 正期産で双胎児を出産した産褥1日の褥婦は母乳育児を希望している。第1子の吸啜は問題がないが、第2子の吸啜がやや弱い。

この褥婦への助産師の対応で適切なのはどれか。

1. 授乳は時刻を決めて行う。
2. 2人同時授乳の方法を指導する。
3. 最初は混合栄養で授乳することを勧める。
4. それぞれの児に決まった乳房で授乳する。

20 Basedow(バセドウ)病合併妊娠について正しいのはどれか。

1. 血中甲状腺刺激ホルモン(TSH)が高値である。
2. 妊娠初期のチアマゾールの服用は胎児の先天異常と関連がある。
3. 妊娠後期に増悪し出産後に軽快することが多い。
4. 授乳によって新生児に甲状腺機能亢進症が起こる。

21 栄養成分と新生児に対する効果の組合せで正しいのはどれか。

1. オリゴ糖 ————— 感染防御
2. リパーゼ ————— 壊血病予防
3. ビタミンC ————— くる病予防
4. ラクターゼ ————— 脂肪の消化吸収の補助

22 妊婦の状態とそれに関連して生じやすい新生児への影響の組合せで正しいのはどれか。

1. 血小板減少 ————— light-for-dates 児
2. 不規則抗体陽性 ————— 多血症
3. 抗てんかん薬の定期内服 ————— 出血性疾患
4. サイトメガロウイルス感染症への罹患 ————— 巨大児

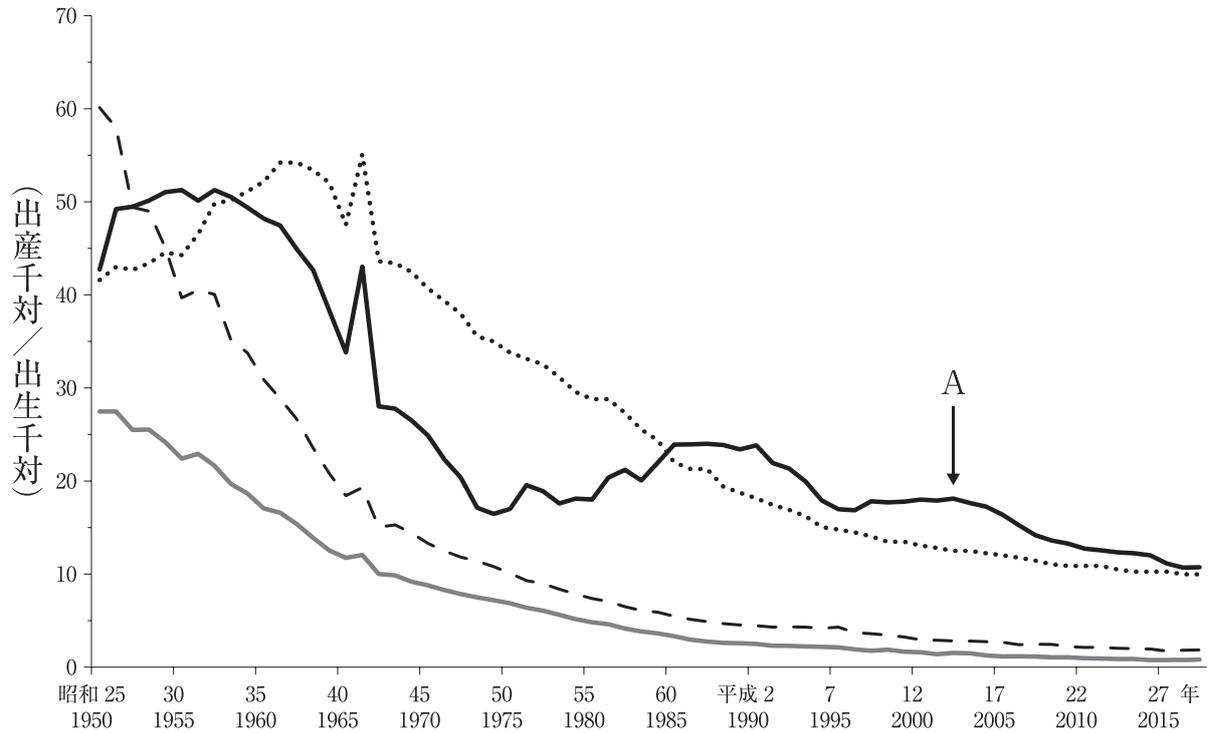
23 助産師が1歳6か月児の養育者に子どもの社会性の発達を促す支援として伝える内容で適切なのはどれか。

1. 児がお菓子を買うよう泣いて要求したら購入する。
2. 児が排泄前に意思表示ができないときは児を注意する。
3. おもちゃで遊んでいるときは、そばにいてやり取りを楽しむ。
4. 子どもが同一のものを取り合う場合は子ども同士で解決するまで見守る。

24 地域母子保健の助産師活動で正しいのはどれか。

1. 有床助産所を開設する。
2. ハイリスクアプローチを原則とする。
3. 社会資源は自治体内にあるもので対応する。
4. 母子の健康課題は地域特性と関連づけてアセスメントする。

25 母子保健統計の年次推移グラフを示す。



A に当てはまるのはどれか。

1. 自然死産率
2. 人工死産率
3. 乳児死亡率
4. 新生児死亡率

26 A 病院の産科病棟では、個人の活動目標に対して年度末に病棟師長が面接を行っている。

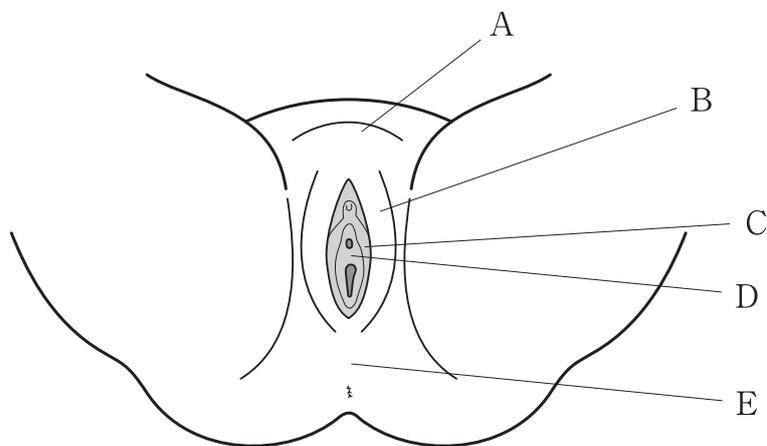
入職 2 年目の助産師 B との面接で適切なのはどれか。

1. 病棟師長は看護部の事業計画に沿って次の課題を B に指示する。
2. B が設定した目標に対しての実践内容を述べてもらう。
3. 達成できなかった助産技術を中心に評価する。
4. B の次年度の個人目標は病棟師長が決定する。

27 性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律で、戸籍上の性別の取扱いについて変更の審判ができる条件に含まれるのはどれか。

1. 16歳以上であること。
2. 婚姻状態にある場合は配偶者の同意があること。
3. 心理専門職によるカウンセリングを受けていること。
4. 生殖腺がないこと又は生殖腺の機能を永続的に欠く状態であること。

28 外陰の構造を図に示す。



会陰はどれか。

1. A
2. B
3. C
4. D
5. E

29 妊娠 38 週、分娩が進行している。胎児心拍数陣痛図(別冊No. 1)を別に示す。

胎児心拍数波形のレベル分類はどれか。

1. 1
2. 2
3. 3
4. 4
5. 5



30 日齢 2 の新生児。授乳後に排気とともに非胆汁性の嘔吐がみられた。バイタルサインは、体温 37.4℃、呼吸数 50/分、心拍数 150/分。オムツ交換をするとタール便を排泄しており、Apt(アプト)試験を行うとすぐに暗褐色に変化した。

この所見から考えられる状態はどれか。

1. 壊死性腸炎
2. 仮性メレナ
3. 小腸閉鎖症
4. 乳糖不耐症
5. 新生児ビタミン K 欠乏性出血症

31 在胎 30 週 2 日、緊急帝王切開で出生した男児。新生児蘇生時に気管挿管と胃管挿入を行い、人工呼吸を継続しつつ NICU に入院した。入院時の胸部エックス線写真(別冊 No. 2)を別に示す。また胃液のマイクロバブルテストの結果は very weak であった。

この疾患について正しいのはどれか。

1. 男児より女児に多い。
2. 気管洗浄が治療に有効である。
3. 肺のコンプライアンスが上昇する。
4. 母親の糖尿病罹患が発症のリスク因子である。
5. 出生前の母体への抗菌薬投与が発症予防に有効である。



32 胎児発育不全(FGR)の妊婦が正期産で正常分娩になった場合の妊娠および分娩の管理で、保険診療の対象はどれか。

1. 分娩料
2. 室料差額
3. 正常新生児管理料
4. 妊婦健康診査の費用
5. ノンストレステスト(NST)

33 助産師の異常死産児の届出義務を規定している法律はどれか。

1. 刑法
2. 戸籍法
3. 母子保健法
4. 母体保護法
5. 保健師助産師看護師法

34 日本人の食事摂取基準(2020年版)で妊娠後期の妊婦に付加量が設定されている栄養素はどれか。2つ選べ。

1. カルシウム
2. ナイアシン
3. ビタミンA
4. ビタミンC
5. ビタミンK

35 臍帯について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 内胚葉由来である。
2. 羊水分泌に関与する。
3. 胎盤付着部位は側方が最も多い。
4. 臍動脈と臍静脈は長さに差がない。
5. 表面が Wharton〈ワルトン〉膠様質で覆われている。

36 正期産の分娩進行中に間欠的胎児心拍数聴取で異常がない場合でも、児の娩出まで胎児心拍数陣痛図による連続的モニタリングを行うことが必要なのはどれか。

2つ選べ。

1. 破水後
2. 身長 150 cm 以下
3. 妊娠高血圧症候群
4. 胎児推定体重 2,000 g 未満
5. B 群溶血性レンサ球菌〈GBS〉陽性

37 A さん(38 歳、初産婦)は 3,000 g の児を正常分娩した。分娩所要時間は 22 時間で出血量は 250 mL。会陰裂傷は I 度で縫合せず、産道損傷はない。産褥 1 日の外陰部診察で会陰部は発赤や腫脹はなく、軽度の疼痛があった。肛門部に母指頭大で浮腫状の腫瘤が認められ、出血はなく、触れると疼痛を訴える。

A さんへの助産師の対応で適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 内診をする。
2. 速やかに腫瘤を整復する。
3. 飲食を控えるよう説明する。
4. 腹圧をかけないよう伝える。
5. 腫瘤に処方された抗炎症作用の軟膏を塗布する。

38 Aさん(37歳、1回経産婦)は妊娠高血圧腎症の診断を受け、妊娠29週6日に帝王切開で896gの女児を出産した。

Aさんが将来発症する危険性が高い疾患はどれか。2つ選べ。

1. 肝硬変
2. 卵巣癌
3. 甲状腺疾患
4. 心血管疾患
5. 慢性腎臓病

39 Aさん(32歳、初産婦)は産褥5日、児は母乳のみで順調に体重が増加している。退院指導を行ったとき、Aさんは「実は、妹の子どもが1か月で乳幼児突然死症候群だったんです。予防のことも含めて教えてください」と話した。

乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する助産師の説明で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 「予防のため睡眠時は固めのマットレスを使用しましょう」
2. 「日本での発症頻度は約15,000人に1人です」
3. 「うつぶせ寝が発症のリスク因子です」
4. 「この病気は遺伝性疾患です」
5. 「夜間は人工乳にしましょう」

40 分娩を取り扱う有床助産所を産婦人科診療所に併設して開設することになった。
助産所の構造は耐震、耐火構造の地下1階から地上3階建てにした。

関連法規に基づいた助産所の開業計画で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 地階に入所室を設ける。
2. 避難階段を2つ設ける。
3. ベッド数は15床にする。
4. 管理者は産婦人科診療所の産科医にする。
5. 所在地の都道府県知事に開設を届け出る。

次の文を読み 41～43 の問いに答えよ。

A さん(25 歳、未婚)は初経が 11 歳で、半年前からの無月経を主訴に婦人科医院を受診した。妊娠の可能性はない。ホルモン検査は、プロゲステロン投与で消退出血なし、エストロゲンとプロゲステロンを投与した後に消退出血あり、卵胞刺激ホルモン〈FSH〉正常値、黄体化ホルモン〈LH〉低値、ゴナドトロピン放出ホルモン〈GnRH〉負荷試験に反応ありという結果であった。

41 A さんの無月経の原因で考えられるのはどれか。

1. 処女膜閉鎖
2. 子宮性無月経
3. 下垂体性無月経
4. 視床下部性無月経
5. 早発卵巣機能不全

42 その後 A さんの月経周期は順調になり、婦人科を受診せずに数年が経過した。

しかし月経痛が徐々に強くなり市販の鎮痛薬も効かなくなってきたため、29 歳のときに婦人科医院を受診した。機能性月経困難症と診断され、医師から低用量エストロゲン・プロゲステロン配合薬〈低用量ピル〉の内服を勧められた。A さんは助産師に「生理痛がつらいので低用量ピルを飲んでみたいのですが、副作用や注意点を教えてください」と相談した。

A さんへの助産師の説明で適切なのはどれか。2 つ選べ。

1. 「骨密度が下がる可能性があります」
2. 「体重が増加する可能性があります」
3. 「静脈血栓塞栓症は服用開始後早期に多く認めます」
4. 「内服中の静脈血栓塞栓症のリスクは妊娠中より高いです」
5. 「内服中に手術が必要となる場合は、手術の 4 週間前に内服を中止します」

43 Aさんは、低用量エストロゲン・プロゲスチン配合薬〈低用量ピル〉の内服開始前に乳がんの検査を受け、右乳癌と診断された。医師からは手術と放射線療法、術後10年間のホルモン療法が必要と説明を受けた。

Aさんから妊孕性温存について相談を受けた助産師の説明で適切なのはどれか。

1. 「妊孕性温存には公的保険が適用されます」
2. 「胚凍結保存は卵子凍結保存より妊娠率が高いです」
3. 「医師に相談して治療開始を遅らせてもらいましょう」
4. 「化学療法を受けないので妊孕性温存の必要はありません」

次の文を読み 44～46 の問いに答えよ。

A さん(37 歳、初産婦)は身長 155 cm、非妊時体重 48 kg で妊娠経過は順調であった。13 時に陣痛発来し、15 時に夫に付き添われて入院した。

入院時、内診所見は子宮口 3 cm 開大、展退度 60 %、Station -3、子宮頸管の硬度は中、子宮口の位置は中央、矢状縫合は横径に一致し、小泉門は 3 時の方向に触れ、未破水である。陣痛間欠 5～6 分、陣痛発作 30 秒。胎児心拍数基線は 145 bpm であった。

44 入院時の助産診断で正しいのはどれか。

1. 第 2 頭位である。
2. 児頭最大径は骨盤峽部である。
3. Bishop〈ビショップ〉スコアは 9 点である。
4. Friedman〈フリードマン〉曲線の潜伏期である。

45 入院後 10 時間、陣痛開始から 12 時間経過し、陣痛間欠は 4 分、陣痛発作は 40～50 秒となった。胎児心拍数陣痛図は正常。内診所見は、子宮口 6 cm 開大、展退度 70 %、Station +1、小泉門が先進し 1 時の方向に触れた。A さんは陣痛間欠時、うとうとする様子が見られた。

このときのアセスメントで正しいのはどれか。

1. 正常経過
2. 微弱陣痛
3. 低在横定位
4. 分娩第 1 期遷延

46 陣痛開始から14時間経過し、陣痛間欠は2分、陣痛発作は50秒になった。子宮収縮に伴い、最下点90~100 bpmの一過性徐脈が出現し始めた。このときの内診所見は、子宮口全開大、Station +3、陰裂や肛門の哆開はない。小泉門が先進し矢状縫合は縦径に一致している。Aさんは「おしりが押される感じです」と言いながら、陣痛発作時は深呼吸で乗りきっている。

このときの助産師の対応で適切なのはどれか。

1. 急速遂娩を開始する。
2. 短息呼吸に切り替える。
3. 陣痛発作時は深呼吸を続けてもらう。
4. Valsalva〈バルサルバ〉法で努責を誘導する。

次の文を読み 47～49 の問いに答えよ。

A さん(38 歳、1 回経産婦)は妊娠経過中、特に異常の指摘はなかった。妊娠 37 週 2 日、妊婦健康診査時の胎児心拍数陣痛図で胎児の遷延性徐脈を認めたため緊急帝王切開術で B ちゃん(女兒)を出産した。帝王切開の手術中、羊水混濁は認めなかった。

B ちゃんは出生時、自発呼吸がなく筋緊張も低下していた。すぐに蘇生の初期処置を行ったが自発呼吸は出現せず、聴診で心拍数 40/分のため出生後 1 分からバッグマスク換気にて人工呼吸を開始した。その後、有効な換気ができていることを確認しつつバッグマスク換気を継続したが児の心拍数上昇が認められず、胸骨圧迫を行うことにした。

47 胸骨圧迫の手技で正しいのはどれか。

1. 一本指法
2. 両母指法
3. 片手法
4. 両手法

48 B ちゃんは新生児蘇生によって心拍数は上昇したが、自発呼吸が弱いため気管挿管後に NICU へ入院した。生後 2 時間、B ちゃんに対して低体温療法の適応を検討することにした。

適応の検討に必要な情報はどれか。

1. 体 温
2. 頭 囲
3. 吸啜反射
4. Apgar〈アプガー〉スコアの 5 分値

49 Bちゃんには低体温療法の適応があると判断され、治療の準備を始めた。生後3時間、低体温療法の準備中に急な心拍数の上昇と眼球運動の停止、両肘を律動的に屈曲させる動きが認められた。一連の症状は約30秒間持続し、その間、他動的に上肢の動きを制限しても律動的な筋収縮は続いていた。

Bちゃんの症状の原因で可能性が高いのはどれか。

1. 逃避反射
2. 落陽現象
3. 新生児発作
4. ストレス行動
5. 迷走神経反射

次の文を読み 50～52 の問いに答えよ。

A さん(35 歳、経産婦、会社員)は 3,000 g の男児を正常分娩で出産した。会社員の夫と B ちゃん(2 歳 2 か月、長女)の 4 人暮らし。助産師は保健センターから新生児訪問事業の委託を受けて、生後 21 日に訪問した。

50 新生児への授乳状況について助産師が確認すると、A さんは「この子は 1 回の授乳に 40 分から 1 時間かかっています。長女のときは母乳でしたが、今回は無理でしょうか」と話した。現在まで人工乳の補足は行っていない。児の体重増加は 30 g/日である。

A さんの母乳栄養の状況で優先して観察する項目はどれか。

1. 授乳時の姿勢
2. 乳房のタイプ
3. 水分摂取量
4. 食事内容

51 助産師が産後の生活について話を聞くと、A さんは「出産してから B がまとわりついてきます。赤ちゃん返りだと分かっているのですが言うことを聞かないときもあって困ってしまいます」と話した。助産師は A さんの話を傾聴して思いを受け止め、育児を頑張っていることをねぎらった。

その後の A さんへの助言で最も適切なのはどれか。

1. 「B ちゃんにどうしてほしいか聞いてみましょう」
2. 「B ちゃんと一緒に赤ちゃんのお世話をしましょう」
3. 「赤ちゃんが寝ているときに B ちゃんと遊びましょう」
4. 「B ちゃんが言うことを聞かないときは分かりやすい言葉で注意しましょう」

52 Aさんは「夫の仕事が忙しくなって帰宅が遅く、予想よりBの世話に手がかり
ます。夕方は赤ちゃんの世話と夕食の支度で精一杯です。どうしたらいいですか」
と尋ねた。

助産師の提案で適切なのはどれか。

1. 子育て講演会への参加を勧める。
2. 養育支援訪問事業の利用を勧める。
3. ファミリーサポートセンターの利用を勧める。
4. 2歳児を対象とした自治体の育児教室を紹介する。
5. 夜間養護等事業〈トワイライトステイ事業〉の利用を勧める。

次の文を読み 53、54 の問いに答えよ。

A さん(38 歳、初産婦)は他院で体外受精治療にて妊娠が成立し、本日 X 年 11 月 5 日に受診した。治療経過は、最終月経 X 年 9 月 12 日から体外受精治療のために排卵誘発薬の投与を開始し X 年 10 月 1 日に採卵。体外受精で 3 個の胚を得て、10 月 6 日に新鮮胚を 1 個移植した。

53 本日(11 月 5 日)の妊娠週数で正しいのはどれか。

1. まだ決定できない
2. 4 週 2 日
3. 6 週 2 日
4. 7 週 0 日
5. 7 週 5 日

54 A さんの妊娠経過は順調である。超音波検査写真(別冊No. 3)を別に示す。

この時期の児の発育を評価するための測定項目で正しいのはどれか。

1. 頭殿長
2. 児頭大横径
3. 胎児の腹囲
4. 胎児推定体重
5. 胎児大腿骨長

別 冊

No. 3

次の文を読み 55 の問いに答えよ。

A さん(40 歳、1 回経産婦)は妊娠 35 週 4 日、2 時間ほど持続する下腹部痛が治まらないため、救急外来を受診した。来院時、A さんは子宮全体に痛みを訴えており苦悶様の表情で、子宮は硬い。血性の帯下がみられている。A さんの意識は清明で、バイタルサインは、体温 37.3℃、呼吸数 16/分、脈拍 72/分、整、血圧 158/96 mmHg、経皮的動脈血酸素飽和度〈SpO₂〉95%(room air)である。胎児心拍数陣痛図(別冊No. 4)を別に示す。

55 診断のために最初に行われる検査はどれか。

1. 尿検査
2. 血液検査
3. 超音波検査
4. 胸部エックス線検査

別 冊

No. 4

